

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~4日	9月 ~11日	9月 ~18日	9月 ~25日	10月 ~2日	10月 ~9日	10月 ~16日	10月 ~23日	10月 ~30日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	12	9	17	9	28	14	17	18	22
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	15	13	5	7	13	4	10	10 (11)	5
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	0	0	0	1	0	0	0 (1)	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	5	4	2	1	1	7	3	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	3	3	2	5	7	2	3	5	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	7	1	4	3	7	0	4	2	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	4	0	0	1	0	1	1	1	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	7	1	1	1	0	0	0	0	1	1
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他の1件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第43週(10月24日~10月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			2		1		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					1		1
四類	5	つつが虫病	1	1						
		日本紅斑熱	4			2		1		1
五類	14	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3						1	2
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	10			1		7		2
新型インフルエンザ 等感染症	8,798	新型コロナウイルス感染症	8,798	981	909	727	410	3,507	524	1,740

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第43週に3,507件の報告がありました。第40週からほぼ横ばいで推移していましたが、前週の約1.2倍に増加しており、感染の再拡大が懸念されます。
 マスクの正しい着用、手洗い、ゼロ密、換気など基本的な感染予防対策に加えて、体調不良時の外出自粛など一人一人が対策を徹底することが大切です。

2 腸管出血性大腸菌感染症

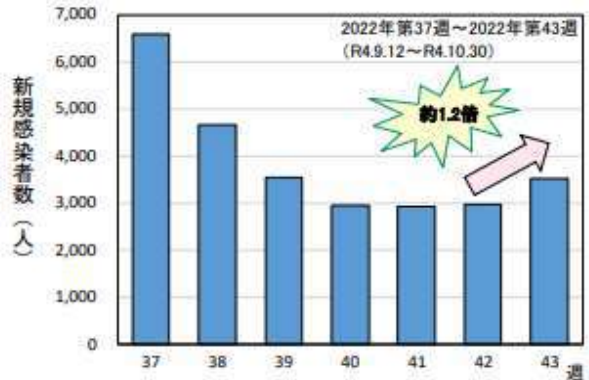
今年の累計は24件となり、例年と比べて多い状況です。感染予防のため、肉類は十分に加熱し、生で食べる野菜や調理器具はよく洗いましょう。また、調理や食事の前、トイレの後などは、せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。

3 後天性免疫不全症候群

今年の累計は9件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見・早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.19		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.11	
	咽頭結膜熱	6	0.27	0.24			RSウイルス感染症	9	0.41	0.53	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.73	1.38		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
	感染性胃腸炎	62	2.82	3.45			流行性角結膜炎	1	0.13	0.50	
	水痘	-	-	0.23		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	7	0.32	1.71			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.07			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	突発性発しん	8	0.36	0.31			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	21	0.95	0.49			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	96	60歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	24	40歳代・O157
4	日本紅斑熱	1	13	60歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	9	20歳代・エイズ
5	梅毒	7	278	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・1人、50歳代・2人